

東洋英和女学院大学大学院

2020年度前期入学試験

秋季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻
修士課程 臨床心理学領域

専門分野

I. 以下の項目について、それぞれ 200 字程度で説明せよ。

- ①スーパービジョン
- ②虐待
- ③サイコロジカルファーストエイド
- ④ケース・フォーミュレーション
- ⑤世代継承性・生成継承性 (generativity)

II. 次の事例を読んで、問題に答えよ。

事例

Aは、小学5年生の男の子である。40歳代の両親と妹(小学1年生)と父方の祖母(60歳代)との5人家族で生活をしている。Aは、幼稚園から親しくしているB(男子)や小学校入学以降に仲良くなったC(男子)を始め多くの友達との関係が良く学校や帰宅後も互いの家を行き来しては遊んでいた。

Aは出生後に発育など特に問題を指摘されたことが無く、外遊びや野球やサッカーを友達と楽しんだり、特に父親や友達とのテレビゲームを楽しんできた。Aは幼稚園を卒園した後に、近所に売り出された一軒家に引っ越して、祖母との同居が始まった。Aは、2年生の時にスイミング教室へ行くことを始め、3年生の時からサッカーを学ぶ教室へ友達Cと共に入会したり、4年生になるとスイミング教室を辞めてピアノ教室へと通い始めた。さらには4年生の4月から周囲が塾に通い始めたことを知って、Bの母親同士が話し合っ通うことを勧めた塾へBと共に通うようになった。

9月末のサッカー教室での練習試合の日にAは、サッカー練習に臨む姿勢をコーチから注意を受けた。「やる気が無いなら、今日は帰って休め」と厳しく注意を受けた。コーチからは、Aがサッカーの練習試合に出場できなかったことで反抗的な態度を示し、他の子どもに八つ当たりをしたことを咎めたと迎えに来た母親に説明があった。その日を境に、Aは、塾へ行くことやサッカー、ピアノだけでなく、宿題や小学校へ登校すること等に対して渋り始め、次第に行かなくなった。友達と遊ぶことにもあまり乗り気でなくなり、家で1人でテレビゲームをするようになっていった。こんな状態を心配した母親が父親や祖母と話し合っ、母親だけで10月半ばに教育相談センターを訪ねてきた。

問 1 あなたが本事例について心理支援(心理療法・カウンセリング)をするとしたら、どのような理論的立場から、どのように理解し、どのような支援の方針を立てるか、400字以内で述べよ。

Ⅲ. 20代のAさんは、カウンセリングセンターで、心理面接を受けている。以下の事例を読み、Aさんにどのような心理体験が生じているのか説明せよ。

Aさんは、ある回の面接で、これまで避けてきた心理的課題に直面することになった。次の回、Aさんは面接をキャンセルし、そのすぐ後に、別のカウンセリング機関に心理面接を申し込んだ。

Ⅳ. 以下の用語および概念について説明せよ。

- ① タイプ A 性格
- ② 反動形成
- ③ 自己同一性
- ④ good enough mother
- ⑤ 観察学習